

パブリックコメントの回答について

「組織改革について」のパブリックコメント募集手続きについては、令和6年10月9日から令和6年11月8日まで募集し、1名から4件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は以下のとおりです。

いただいた意見の要旨	市の考え方
ガバナンスを担う組織再編の一環として、企画・財政の両部門を一つの部で所管するのであれば、総務部に税務課が残されるのは少し違和感を感じます。財政課とあわせて企画部へ移管した方が自然ではないでしょうか。	今回の組織改革では、総合計画と財政を所管する課を一つの部とし、機動的な政策推進を企図しており、その検討において企画部の規模や企画政策課、財政課及び税務課との関係性を考え、税務課は現行のままとしました。
企画政策課として庁内横断的プロジェクトの取組を強化されることに賛成です。行政における喫緊の課題としては自治体のDX化がありますが、これには組織が一体となった取り組みが必要だと思います。ぜひ、このプロジェクトには、こうした自治体のDX化にかかわる中心的な役割を果たされるよう期待します。	ご意見のとおり、庁内横断的プロジェクトの取組強化を図り、行政における喫緊の課題に取り組みます。
新庁舎建設計画は、なぜ総務課が中心となって検討されているのでしょうか。総務課の業務内容には「庁舎管理に関すること」がありますが、これはあくまで管理であって新規の開発は管轄外ではないのでしょうか。行政も民間企業と同様、デジタル化とオンライン化の時代です。なぜ、企画防災課やデジタル推進課が中心となって対応されないのでしょうか。	新庁舎建設については、庁舎管理、財産管理の観点から総務課で検討を開始し、令和5年7月から総務課内に新庁舎建設推進室を新設、令和6年4月からは新庁舎建設事務局に改組し、新庁舎建設推進に取り組んでいます。 今回の組織改革の中で、所管の変更についても検討しましたが、新庁舎建設は計画から建築設計に移行する佳境にあり、これまでの検討経緯を踏まえて実行する必要があるため、現行のままとしました。
庁舎の建設と自治体DX化は一体のものとして扱うべきではないでしょうか。新庁舎建設とDX化は、多治見市役所における今後の方向性を決めるとしても重要な課題であると思います。今回の組織改革において企画防災課の企画部門と公共施設管理課を統合して企画政策課を立ち上げられるのであれば、当課で新庁舎建設とDX化を併せて検討されることが最善ではないでしょうか。	また、庁舎のデジタル化・DX化や窓口の業務改善（窓口BPR）の推進については、企画防災課・デジタル推進課・新庁舎建設事務局を中心とした「庁舎DX推進検討会議」や「庁舎窓口BPR検討会議」を立ち上げ、全庁的な取組を進めています。